

調査表は富士山の1.8倍

国勢調査は「紙で勝負する」といわれます。もちろん、全国約七十五万人の調査員のご苦労なしに成果はあげられませんが、四千五百枚の調査票は、まぎれもない「紙」です。

ところで、一回の調査にどれくらいの紙を使うのでしょうか。

調査票一枚の厚さは〇.二五三ミリにすぎませんが、今回全国で使われる四千五百枚を積み重ねると、富士山の約一.八倍の六千八百八十五メートルにもなります。

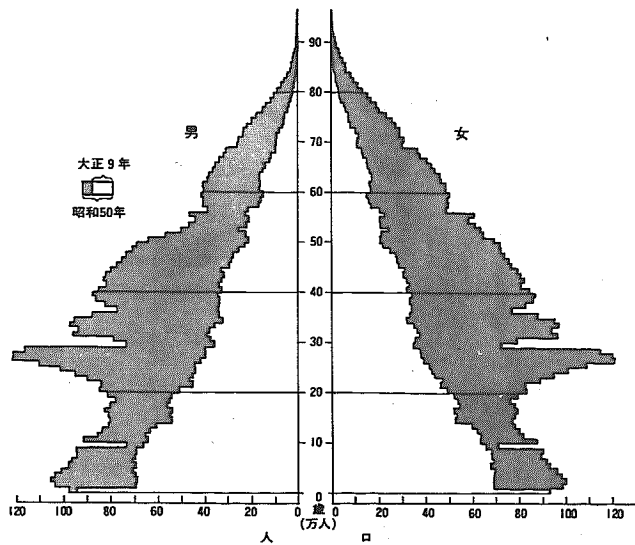
また、調査票一枚の大きさは、タテ三六センチ四ミリ、ヨコ二五センチ七ミリ。四千五百枚をタテに一直線に並べたとしますと、約一万六千三百八十キロとなり、東京—サンフランシスコ間の飛行距離八千四百四十五キロの約二倍にもなります。

今年は何勢調査年

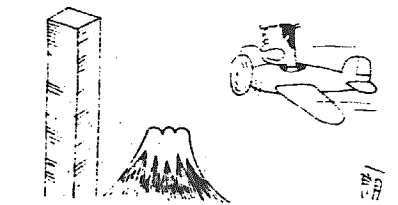
この膨大な「紙」——調査票は光学式読取装置によって集計され、「国勢調査報告」のほか、人口の増減比較や構成比ならびにその解説を収録した「解説シリーズ」、通勤・通学人口や大都市圏・市町村の人口を規模別に分類整理した「資料シリーズ」などにまとめられます。

もちろん、これらの刊行物も、「紙」のお世話になるのですが、国勢調査報告だけを見ても、

全国の年齢(各歳)別人口(昭和50年、大正9年)



昭和二十五年に一万五千ページだったのが、回を重ねるごとに増え続け、前回の五十年には約六万ページに増えました。



七月臨時議会 大野小改築工事 契約の締結 などを審議

七月二十二日、大野小学校改築工事などの三議案が上程。それぞれば原案どおり可決されました。議案の要旨は次のとおりです。

- 町立大野小学校校舎改築本体内工事及び屋内体育館併設改築工事請負契約の締結。
- 指名競争入札により、一億九千四百八十万円(鶴高健組(新潟市磯町)が落札)。
- 町立大野小学校校舎改築電気設備工事の請負契約締結。
- 指名競争入札(随意請負契約)により、三千七百七十五万円(東北電気工事(仙台市)が請負)。
- 町立大野小学校校舎改築給排水衛生設備工事及び屋内体育館併設改築工事請負契約の締結。
- 指名競争入札(随意請負契約)により、四千六百五十万円(鶴北設備工業所(新潟市川岸町)が請負)。

●随意請負契約とは、地方公共団体が競争の方法によらないで任意に特定の者を選定して、その者と請負契約を締結することをいう。これは一般競争入札をたてまるとする契約方法の特例方式です。

急速に高齢化する人口

年々の出生児数にそれほどの変化がなければ、普通・年齢階級別の人口は、若年層ほど多く、高齢層ほど少なくなる。これを図に画けばピラミッド型を形づくることになる。

戦後の人口千人当たりの出生率の推移を見ると、昭和二十二年、二十四年のベビーブーム期から昭和三十三年のわずかな十年の間に二十四前後の水準から十七に半減している。西欧諸国でも出生率は低下傾向を示しているものの、日本ほど急激な低下は世界にも例を見ない。その後、戦後のベビーブーム期に出生した女子が二十代半ばにさしかかった昭和四十年代後半にはゆるやかに上昇したが、昭和四十八年の石油危機を境に再び低下を続け、昭和五十三年には一四九まで低下している。こうした出生率の動向がピラミッドを変型させているのである。このような人口ピラミッドの変型は、総人口に対する若年層の割合の低下と老年人口の割合の上昇を意味する。

総人口に対する六十五歳以上の人口の割合を見ると、戦前から昭和二十五年ごろまでは五%前後で大きな変化はなかった。これが昭和五十年には七.九%、そして、人口問題研究所の推計によれば、昭和九十五年には一八.八%と最高に

達する。出生率の低下に加えて平均寿命の伸びによって我が国の人口は急速に高齢化する。既に、少産少死型に転換しているフランスやスウェーデンでは、六十五歳以上人口の割合が五%から二%に達するにそれぞれ一七〇年、一〇五年かかっている。これが我が国では四五年で達すると推定されており、我が国の人口高齢化の速度がいかに速いかが理解できよう。

こうした人口の高齢化によって我々は様々な問題を解決してゆか

調査は「常住地方式」 「ふだん」は「どこのへん」

「日ごろ」とか「いつも」という意味で、わたしは「ふだん」という言葉をよく使います。

「ふだんよく行く店」とか、「ふだん思っていること」などというふうに。

ところで、十月一日に行われる国勢調査「ふだん住んでいる場所」で行うことが決められています。この場合の「ふだん」とはどのくらいの期間をいうのか、これが今回のお話です。

なればならない。年金・住宅等老人の生活保障・医療保障・老人福祉施設・ホームヘルパー派遣等の老人福祉サービス、生きがいの向上、さらに、老人の就業問題等問題は山積している。

の人口に数えるよりは、その人がふだん住んでいるB市の人口として数えるほうが妥当なことはいまでもありません。

これは、公職選挙法で選挙権が得られる資格要件の一つ「三か月以上」に合わせたものです。



季節の話 宝くじの日

クジをもじって、九月二日は、「宝くじの日」です。物は価値、インフレムードの中で、一枚百円、最近では二百円、三百円のものも売られ、宝くじに夢を託す人がふえています。宝くじに夢を託す人がふえています。宝くじに夢を託す人がふえています。

そこで同部は、一年間に発売された宝くじ全部の当選番号を集録した「宝くじ年間当選番号集」を作成し、希望者には無料で配布しています。

あなたもぜひ手もとにある宝くじをも一度調べてみませんか。